

各種奨学団体奨学生 募集一覧表（大学を經由して申請する奨学金）の詳細

奨学団体名	「きぼう」プロジェクト 免疫学博士課程学生支援
学内選考	あり
給付/貸与	給付
支給金額/貸与金額	年額3,000,000円
支給期間/貸与期間	2年または3年間支援
採用人数	2年間支援：岡大推薦枠1名（全国で5名） 3年間支援：岡大推薦枠1名（全国で6名）
対象学生の課程・学年	大学院生（詳細は応募資格で確認）
対象学生等応募資格	<p>2025年4月1日において、我が国の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者（ただし、同一ラボから応募出来るのは、1件のみとする。）</p> <p>○免疫学博士課程学生支援－3年間支援（大学院博士課程在学者） 【在学年次】 1. 博士課程後期第1年次に在学する予定の者 2. 一貫制の博士課程第3年次に在学する予定の者 3. 後期3年の課程のみの博士課程第1年次に在学する予定の者 4. 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第2年次に在学する予定の者</p> <p>○免疫学博士課程学生支援－2年間支援（大学院博士課程在学者） 【在学年次】 1. 博士課程後期第2年次に在学する予定の者 2. 一貫制の博士課程第4年次に在学する予定の者 3. 後期3年の課程のみの博士課程第2年次に在学する予定の者 4. 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第3年次に在学する予定の者</p>
奨学生の義務	<p>※申請時点では日本免疫学会非会員でも可とするが、採用決定の場合には、支援金が支給されるまでに日本免疫学会員となること（日本免疫学会学術集會に於いて、成果報告が必要）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>採択者は、出産・育児に係る採用中断の扱いを受ける場合を除き、申請書記載の研究計画に基づき研究に専念しなければなりません。なお、原則として研究課題、研究計画の変更はできません。 また、研究に専念していないと認められる場合、又は研究の進捗状況に著しい問題があるなどの場合には、採用を取り消すことがあります。</li> <li>採択者が、常勤的な職に就いた場合および大学院博士課程を退学した場合、この資格を喪失します。速やかに届け出をしてください。</li> <li>採択者が、大学院博士課程を休学（出産・育児）する場合は、この資格を中断します。 なお、休学による採択者の学生として海外の大学・大学院への留学は認めません。</li> <li>採択者は、毎年度末及び採用期間終了後速やかに研究報告書を提出しなければなりません。（出産・育児に係る採用中断の扱いを受ける期間が一年度の全てにわたった場合を除く。）</li> <li>採択者は、上記(4)の義務に加え、毎年度末及び採用期間終了時に研究の進捗状況等についての評価が実施される場合があるため、その時は必要書類を提出しなければなりません。 なお、本学会が必要と認めた場合は、口頭発表・状況報告等を求めることがあります。</li> <li>採択者は、採択された翌年の免疫サマースクールに、スクールアシスタントとして運営に参加しなければなりません。また、支援期間中は、毎年日本免疫学会学術集會の場等で研究発表をし、きぼうプロジェクト選考・評価委員会委員よりアドバイスを受けてください。</li> <li>上記の義務等に反した場合、又は、研究における不正行為や懲戒処分を受ける等、採択者としてふさわしくない行為があった場合には、採用を取り消します。さらに、場合によっては支給済みの研究奨学金の返還要求を行うこともあります。なお、採用時に誓約書の提出を求めます。</li> <li>受入研究者及び受入研究機関は、採択者の受入に責任をもち、「日本免疫学会遵守事項および諸手続の手引」に定められた事項を遵守するよう指導することに同意したことを示す受入承諾書を採用手続時に提出することとしています。</li> <li>受入研究者及び受入研究機関は、採択者に対し、研究実施に必要な当該機関の施設・設備・文献・標本資料・通信環境（情報システム、メールアカウント）等の利用について積極的な支援を行ってください。また、採択者に係る安全衛生管理について機関内規則に基づき指導してください。</li> </ol>
指導教員の推薦書	要
他奨学団体との重複	備考欄を参照

申請書類について	<p>※1. 2. の両方を揃えて提出してください。</p> <p>1. 奨学財団の申請書類（財団HPより印刷して記入し、メールと本紙両方提出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①申請書</li> <li>②現在までの研究状況 <a href="https://www.jsi-men-eki.org/general/kibou/kibou1/">https://www.jsi-men-eki.org/general/kibou/kibou1/</a></li> <li>③これからの研究計画</li> <li>④研究業績</li> <li>⑤自己評価</li> <li>⑥指導教員推薦状</li> </ul> <p>2. 学内選考の申請書類（本学HPから印刷すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①選考調書（岡山大学選考用）</li> <li>②収入に関する証明書（父母がいる場合は父母両方、ひとり親の場合は一人分、父母がどちらもいない場合は父母に代わって生計を支えている方のもの。①の裏面を確認。）</li> <li>③単身赴任実費計算書（必要に応じて提出）</li> <li>④長期療法費計算書（必要に応じて提出）</li> </ul>
提出期限	2024年12月6日（金）17時
提出先	岡山大学学務部学生支援課奨学金担当 一般教育棟A棟2階 6B窓口
問い合わせ先	<p>岡山大学学務部学生支援課奨学金担当 <a href="mailto:shogaku@adm.okayama-u.ac.jp">shogaku@adm.okayama-u.ac.jp</a></p> <p>※学生支援課窓口 または 学生番号、氏名を明記の上、mailにて問い合わせしてください。</p>
備考	<p>※申請書類は、両面印刷不可です。</p> <p>◎採用期間中は、国内外を問わず、他のフェローシップ・奨学金等同種の資金を本学会以外から受給することはできません。</p> <p>※（独）日本学生支援機構等奨学金の貸与は認めません。</p> <p>※ 外国人留学生については、日本政府（文部科学省）奨学金、（独）日本学生支援機構の学習奨励費、及び母国の奨学金等を受けている者が本奨学制度に応募してとして採用された場合には、当該奨学金を辞退してください。</p> <p>※ その他の取り扱いについては、日本学術振興会特別研究員規程に準拠します。</p> <p>採用期間中に、他の機関から同種の資金を受けていたことが確認された場合には、採択者の採用を取り消すとともに、支給済みの研究奨学金の返還要求を行うことがあります。</p> <p>◎研究奨学金の課税について</p> <p>支給される研究奨学金は、給与所得とみなされ課税の対象とされています。そのため、個人の責任において確定申告をしていただきます。</p>